

有森 裕子 Profile

講演テーマ：「よろこびを力に・・・」 肩書・・・元マラソン選手

バルセロナオリンピック、アトランタオリンピック両大会の女子マラソンメダリスト

「一所懸命は必ず勝ちます」と、希望を持ってがんばっていくことを小学生・中学生をはじめとする子どもたちに訴えつつけている。

地雷で被害を受けたカンボジアの子供達に「義手や義足をつけ、走ることで、夢を持つきっかけになれば」とふれあい・支援の為のNPOを設立。

有森裕子の信条は、「世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること」「二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯生きること」。



略歴

1966年岡山県生まれ。就実高校、日本体育大学を卒業して、(株)リクルート入社。バルセロナオリンピック、アトランタオリンピックの女子マラソンでは銀メダル、銅メダルを獲得。

2007年2月18日、日本初の大規模市民マラソン『東京マラソン2007』でプロマラソンランナーを引退。

1998年NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」設立、代表理事就任。2002年4月アスリートのマネジメント会社「ライツ」（現 株式会社RIGHTS。）設立。国際オリンピック委員会（IOC）スポーツと活動的委員会委員。スペシャルオリンピックス日本理事長、日本陸上競技連盟理事、日本プロサッカーリーグ理事。他これまで、国際陸連（IAAF）女性委員会委員、国連人口基金親善大使、笹川スポーツ財団評議員、社会貢献支援財団評議員等の要職歴任。

2010年6月、国際オリンピック委員会（IOC）女性スポーツ賞を日本人として初めて受賞。同12月、カンボジア王国ノロドム・シハモニ国王陛下より、ロイヤル・モニサラボン勲章大十字を受章。

主な競技歴

1990年 大阪国際女子マラソン 6位 2時間32分51秒（初マラソン日本最高記録）

1991年 大阪国際女子マラソン 2位 2時間28分01秒（日本最高記録）

世界陸上選手権女子マラソン 4位 2時間31分08秒

1992年 バルセロナ五輪女子マラソン 2位 2時間32分49秒

1995年 北海道マラソン 女子優勝 2時間29分17秒（大会新記録）

1996年 アトランタ五輪女子マラソン 3位 2時間28分39秒

1999年 ボストンマラソン 3位 2時間26分39秒（自己ベスト）

2001年 東京国際女子マラソン 10位 2時間31分00秒

2007年 東京マラソン2007 5位 2時間52分45秒

◎自己ベスト2時間26分39秒（ボストンマラソン 1999年4月19日）

受賞歴

（国内）

1992年 朝日スポーツ賞（朝日新聞社）

1993年 第5回日本フェアプレー賞

（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟）

1995年・1996年 毎日スポーツ人賞 ファン賞

1996年 菊池寛賞（日本文学振興会）

1996年 ベスト・ドレッサー賞

（社団法人日本メンズファッション協会）

1996年 流行語大賞（自由国民社）

1997年 中日日体育賞（中日新聞社）

2010年 津田梅子賞（津田塾大学）

2015年 日本陸連アスレティック・アワード2015 特別賞

（日本陸上競技連盟）

（海外）

2010年 国際オリンピック委員会（IOC）女性スポーツ賞

2010年 ロイヤル・モニサラボン勲章大十字を受章

2015年 モニサラボン・マハーセレイワット勲章